



9月5日 夏の子ども冒険学校、神戸市北区蓬萊溪で沢登り、雨の合間で水量多かったが、晴れて十分楽しめました

撮影：大見則親

もくじ

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 Voice 会報作成についてのアンケート結果について 浜田光国 | 15 第50回戦跡ハイキング
低山の急激な植生の変化
(高槻労山・三鍋敏郎) |
| 2-4 8月度理事会議事録 | 16-17 地図とコンパス片手に低山徘徊①
(大阪志峰会・田中芳子) |
| 5-7 大坂労山「山の教室」 | 18 山楽登山の世界 (OWCC・中川和道) |
| 8-10 『事故事例集』の勉強会開催 | 19 編集後記 |
| 11 救助隊のページ | |
| 12-13 女性委員会のページ | |
| 14 子ども冒険学校 (八尾山の会・中路尚子) | |

当面の間、新型コロナウイルス感染防止のため、編集委員は集まらず印刷と配布は極力少ない人数で行うためB5・20ページの発行となりました。ご了承ください。(編集長 大西)

大阪府勤労者山岳連盟

☎ 553-0006 福島区吉野 3-2-35 一般社団法人 大阪宣伝センター機関紙会館内

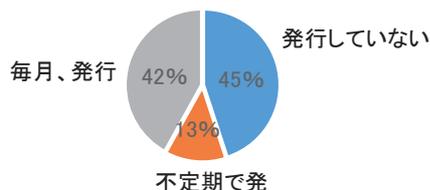
☎ 06-6467-8544 FAX06-6467-8545

Voice 会報作成についてのアンケート結果について

2021年9月
組織部 浜田光国

7～9月に実施した「各会の会報作成の現状についてのアンケート」は31会から回答をいただいた。以下にその結果について報告する。

会報の発行



項目	回数	割合
1. 会報の発行		
① 発行していない。	14	45%
② 不定期で発行している。	4	13%
③ 毎月、発行している。	13	42%
2. 会報を発行していない会への質問		
① メールやHP等で会の情報を流している	57	57%
② 会報を担当する人がいない	36	36%
③ その他	0	0%
3. 会報を発行している会にお聞きます。		
① 会報を印刷物で配布している。	44	44%
② 会報をウェブサイト等で配布	11	11%
③ 印刷物とウェブで作成している	11	11%
④ 会報を大容量ファイル等を利用	22	22%
⑤ その他の方法(メールでPDFを配信など)	33	33%
4. 会報をウェブサイト(HP等)に掲載する方法		
① HP等に会員向けのページを作成	28	28%
② HP等に会員専用のページはない	28	28%
③ その他の方法(LINEやグループアプリ)で連絡	39	39%
5. 会報をウェブサイト(HP等)に掲載の理由		
① 郵送費や印刷代のコスト削減	56	56%
② 作業に会員が集まりにくい	17	17%
③ 写真やイラストが美しいカラーで見れる	22	22%
④ その他の理由(会員拡大、携帯で見る要望など)	33	33%
6. ウェブサイトの個人情報のセキュリティについて		
① 会員向けのページはIDとパスワードで	50	50%
② 名前は実名を使わない。	67	67%
③ その他の方法(顔は解像度を落とす)	39	39%
④ 特に考えていない。	17	17%

- ・会報を発行をしていない会は45%(14会)であったが、そのうち8会はウェブサイト(HP等)で会の情報(山行計画や報告等)を配信していた。
- ・会報(会からの情報等)をウェブサイトで配信する以外に、LINEやメールで発信する会も多い。
- ・会報をウェブサイトに掲載する理由としては、半数以上の会がコスト削減を考えている。その次に、一般参加者への会員拡大やウェブ閲覧の要望に答えるためである。
- ・会員数を増やしている会は、ウェブ情報配信や会報の発行をしている。

コロナ感染収束後に会員拡大を!

2021年8月度 理事会議事録報告

日 時：2021年8月26日（木）19：00～ ZOOM

出席会：クラブ17名、委任状7クラブ

常任理事：10名 進行：大見事務局長

◆子どもの冒険学校（大見事務局長）

- ・1回目7/31日帰り裏六甲・逢山峡 子ども18人 総勢40人で実施

2回目9/5（7/31と同じ場所）

子ども14人の予定 大阪府の指針に従い感染に気を付けて実施

10月秋のハイキング計画 私市駅一くろんど池

◆組織部（浜田副理事長）

- ・全国ハイキング交流集会9月予定⇒11月に延期 場所は近畿から四国に変更場所未定
- ・会報作成についてのアンケートを取りました。8/27現在24の会から回答有り。

（こもれび佐々木）

会報は会の運営には貴重。労山ニュース各会府連に6～7部しか届いてない。是非調査して考えて欲しい。

◆自然保護委員会（澤村常任）

- ・ライチョウ目撃情報 6件 環境省「いきものログ」に投稿
- ・自然保護委員会休業していたが9月よりZOOMで開催を目指す

◆女性委員会（近藤）

- ・近畿ブロック女性委員会交流集会 11/6-7（テーマ：コロナ禍でも輝こう）実施する方向で今準備中。

（川上）

石田先生をお呼びして山筋ゴーゴー体操講習会を開催、全国連盟に諸経費など再申請してるが最終的に今月の全国理事会で決定する。

◆障登PT（代読大見事務局長）

- ・「手話で学ぶ登山入門教室」

大阪労山事務所での取材とライブ配信すべて終了

オンライン講座参加は予想よりも少なくて本当に残念です。

全国に広げたい（関東から数人申し込み有り）

コロナ渦が収まったら対面参加方式に切り替えたい。

視聴配信は8/31までなので、オンライン講座申込は出来ます。講座の内容がとても分かりやすく、視聴期間を延長するかを検討したい。

後半は冬山～春山に向けてもう一度登山講座を開きたいと思っている。

- ・9/15 障登PT 会議予定してます。

◆事務局（大見事務局長）

- ①コロナ後の山小屋支援について

登山道の保全、救助への貢献などお世話になっている山小屋を守りたい

- ②海外在住者の登山届

海外在住者のグレンデ山行をメールのみの提出でもOKにする件

全国連盟に問い合わせたところ「所属会と地方連盟がOK」なら良いとのことでした。

③事故事例集の販売をします。今夜中に申し込み方法をOWAFで流します。

◆教育遭対部（大見事務局長）

- ・事故事例集の勉強会

9/9(木)19:30～ ZOOMのみで行う。連盟事務所は使わない

目的は、事故防止と各会で事故分析ができるように。事故事例集を持ってない人も理解できるよう、ZOOMの共有を使って分かりやすく。申込者のみZOOMの連絡先を伝える。この勉強会は複数回企画する。

- ・2020年度安全対策金の配分について

夏、冬セミナー10,000 山の教室 80,000 女性のための登山教室 20,000 中級登山学校 25,000 岩登り講習会 20,000 雪山縦走L+初雪 20,000 障登PT25,000

2021年は10月にまとめ11月に申請予定

- ・山の教室・・・9/5の確保講習会中止
- ・中級登山学校・・・中止 今後のスケジュールなど運営サイドで相談中
- ・救助隊・・・9/4にやぐらにて訓練予定 11/4-5 搜索訓練予定
- ・初雪および雪山縦走L学校・・・開講せずスタッフ研修のみ行う。11/14 蓬莱峡予定
- ・事故対策会議・・・和歌山県連でも沢の死亡事故発生。近畿ブロックとして取り組みたい。
- ・技術委員会・・・延期

◆遭難対策基金（林事務局次長）

大阪労山遭対基金改定案について・・・（ ）は林の補筆

（林）提案の趣旨説明

約50年前、雪山での遭難が相次いだ。その救助のため救助隊が派遣され、その派遣費用が問題となった。そのため、救助隊活動の費用を積み立てることになり、年120円/人を積み立ててきた。現在、440万円ほど積みあがっている。

今日、登山の形態（長期冬山登山の減少）、遭難事故の熊様（人海戦術を要する事故の激減）、遭難救助の方法（警察、防災ヘリ活用による迅速、無料の救助活動）のため、遭対資金として200万円ほどあれば十分ではないか？（さらに、この資金は各会の申し込み、貸し出しであって、最終的には、各会や労山基金から返済されるので、多額の積み立ては不要と考える）。

また、現行の120円/人の積み立てが無くなれば、連盟費の減少、（さらなる連盟費の値下げにつながり、）会員減少の歯止めにもなるのでは？

現在の資金規約は「大阪府勤労者山岳連盟傘下山岳会及び大阪労山救助隊の遭難救助初動活動の資金並びに大阪労山救助隊準備購入の資金として使用するものです。」（第1条）として、「遭難救助初動活動の資金並びに大阪労山救助隊準備購入の資金」に限定されているが、これに並べて、（広く）「遭難対策の資金」として使用できるよう改訂すべきと考える。具体的には現行規約第1条に「大阪労山の遭難対策の諸活動に使用するもの」と付加すべきと考える。

（泉州、木村）

現在、資金の収支は？

（林）

数年前までは、収入（120円/人の徴収）と支出（救助隊装備費）がトントンであったが、現在は会員減により年間2万円ほどのマイナスになっている。

（安治川、入澤）

規約を廃止するのか？廃止しないとしても、一括して 200 万円程度一般会計に繰り入れるのか？

(林)

廃止ではない、規約の改定である。一括して、一般会計に繰り込むのではなく、この規約の制度趣旨から、遭難対策の諸活動に限定する。例えば、現在、一般会計から支出している、救助隊、登山学校などの費用の他、今増刷されている事故事例集の費用や各登山学校における「主催者保険」などに支出できるのではないか？

(期末に各専門部から、遭難対策資金に予算請求して頂き、予算案として計上し、総会の議決を得て、支出することになる。) 林個人としては、5年位で200万円位になると考えているが、先の常任理事会では、3年目に見直しをしようということになりました。

(雑木、佐藤)

この提案は林個人の提案か？各会はどのように対応すればいいのか？

(林)

本年度総会の「大阪労山遭対資金決算、予算」議案の説明で、現状を報告し、このままでいいのか、「この1年かけ検討したい」と述べたが、今回の提案は、その発言をもとに常任理事会からの提案であり、理事会に諮るものです(第8条「この規約の改廃は理事会で行います。’)今日の理事会で、常任理事会から提案し、各会に持ち帰って貰って検討して頂いて、次回ないし次々回位の理事会で、決議を頂きたいと思っています。

(ピトン、菅野)

事案の重要性から、次回総会で議決したほうがいいのでは？また、この資金を使用するための具体的な手続き規定を設けたほうがいいのでは？

(林)

総会では、遭対資金の予算案も議決頂く事になる。

総会で、規約改正の議決を得るということになれば、次期総会に予算案を提出できず、実際の執行が翌年度以降になってしまう。(以前、大阪府勤労者山岳連盟遭難救助資金運用細則というのがあり、I型、II型とか細かな計算規定があったが、全く現実的でなく、機動的な資金活用に対応していなかったため、平成18年(2006年)総会にて廃止された。現行規約、「第7条この規約に定められていない問題に対しては、この規約の精神に基づき、常任理事会で処理することができます。」および「第8条この規約の改廃は理事会で行います。」とあることから、細かな運用規定ではなく、機動的な資金活用を可能とすべき考えます。)

◆その他()

・ダイトレについて(木村事務局)

労山ニュース9月号Voiseに記載してありますが縦走委員会も開催出来てない状態の中、今年も残念ながら中止とします。それでも今年こそは冬山をと思っておられる会が多いと思います。冬山に向けての長距離縦走は必要不可欠な訓練です。今年のダイトレは大阪府連各会ごとで長距離縦走をする日としたいと思います。

事務所使用について

事務所の入口に貼っている注意事項に基づいて100%守って使用してください。

人数も15名以下厳守

9月理事会 9月30日(木) ZOOMのみ

大阪労山「山の教室」

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置のため大幅に予定が変更になっております。ご注意ください。実技や事務所でしかできない座学は延期、リモートでも開催可能な講座は実施の方針で進んでいます。受講履歴は事務局で管理されていますので、各会の中で受講履歴の把握等が必要であれば下記アドレスに遠慮なくお申し付けください。

kyouikusoutai@osaka-rousan.com

◆今年度日程

2021年度 大阪労山「山の教室」							
日付		科目	種別	主講師	主担当	受講料	定員
4月8日	(木)	ハイキングレスキュー 入門編	座学	日高博	木村治朗	延期(9/29予定)	
4月11日	(日)	ハイキングレスキュー 入門編	実技	日高博	木村治朗	延期(10/3予定)	
4月20日	(火)	パーティー論リーダー論 入門編	リモート	中川和道	三宅康文	¥500	—
5月13日	(木)	ハイキングレスキュー リーダー編	座学	日高博	木村治朗	延期(10/26予定)	
5月15日	(土)	地形図の読み方 入門編	座学	脇阪	西本良夫	延期(未定)	
5月16日	(日)	地形図の読み方 入門編	実技	脇阪	西本良夫	延期(未定)	
5月16日	(日)	ハイキングレスキュー リーダー編	実技	日高博	木村治朗	延期(10/31予定)	
5月19日	(水)	夏山登山と気象 入門編	座学	山本賢治	高田和孝	延期(6/30予定)	
6月3日	(木)	応急手当 入門編	座学	柳川憲一	木村治朗	延期(未定)	
6月10日	(木)	高層天気図の基礎	リモート	高田和孝	山本賢治	¥500	—
6月15日	(火)	遭難事例研究(無雪期) 入門編	リモート	中川和道	疋田吉継	¥500	—
6月23日	(水)	気象情報の見方 気象学の基礎知識から解説する	リモート	河野仁	高田和孝	¥500	—
7月13日	(火)	遭難事例研究(無雪期) 実用編	リモート	中川和道	疋田吉継	¥1,000	6
9月2日	(木)	岩登りの確保 入門編	座学	中川和道	木村治朗	¥500	12
9月5日	(日)	岩登りの確保 入門編	実技	中川和道	木村治朗	¥1,000	12
10月1日	(金)	ハイキングレスキュー 入門編	座学	日高博	木村治朗	¥500	12
10月3日	(日)	ハイキングレスキュー 入門編	実技	日高博	木村治朗	¥1,000	12
10月5日	(火)	パーティー論リーダー論 入門編	リモート	中川和道	三宅康文	¥500	—
10月26日	(火)	ハイキングレスキュー リーダー編	座学	日高博	木村治朗	¥1,000	10
10月27日	(水)	冬山登山と気象 入門編	リモート	山本賢治	高田和孝	¥500	—
10月31日	(日)	ハイキングレスキュー リーダー編	実技	日高博	木村治朗	¥1,000	10
11月6日	(土)	地形図の読み方 入門編	座学	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
11月7日	(日)	地形図の読み方 入門編	実技	脇阪	西本良夫	¥1,000	12
11月6日	(土)	地形図の読み方 実用初級編	座学	脇阪	西本良夫	中止	
11月7日	(日)	地形図の読み方 実用初級編	実技	脇阪	西本良夫	中止	
12月8日	(水)	数値予報天気図の種類と読み方	リモート	高田和孝	山本賢治	¥500	—
12月14日	(火)	遭難事例研究(積雪期) 実用編	座学	中川和道	疋田吉継	¥1,000	6
1月18日	(火)	応急手当2	座学	中川和道	木村治朗	¥500	12

◆10月・11月の講座

ハイキングレスキュー（入門編）座学/実技

日時：9/29（水）19:30～21:30（座学）10/3（日）9:00～15:00（実技）

場所：9/29（座学）連盟事務所 10/3（日）奥山兩山自然公園（日根野集合）

費用：9/29（座学）500円 10/3（日）1,000円

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S567544/>

※原則として実技と座学セットで受講してください。



ハイキングや縦走登山でも起こりうる事故や緊急事態に備えるための「お助け4点セット」について学びます。必要最小限のロープ結び（ムンターヒッチ、クローブヒッチ、8の字結び、フリクションノット他）を実習して実技に備えます。

この技術はただレスキューのためだけでなく、沢や雪山などのバリエーションを歩くための技術にもつながります。是非習得して下さい。

実技では座学で学んだ知識を実際に使うやり方を学びます。入門コースではリーダーではなくメンバーとしての最低限の知識を学びます。支点工作やビレイ等はやりません。

パーティー論リーダー論（入門編2）座学

日時：10/5（火）19:30～21:00

場所：リモート講座（Zoom利用）

費用：500円

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S12693517/>



山に登るにはリーダーが必要です。入門編1では、持ち回りリーダー・輪番リーダーという新たなリーダー像と、メンバーの関係について紹介しました。秋の部10月8日では、登山と法律の関係、とくに責任問題について紹介していきます。「引率登山では責任は大きい、自主登山では安全確保責任を問われた事例はない」と言われています（文献1）。では、山岳会での事故とか、公開山行や登山学校での事故の場合にはどうなのでしょう？講師の体験をまじえながら、事故と責任について考えて行きます。できましたら、以下の文献を読んできていただくと有難いです。文献1～3が手に入らない方はご相談下さい。

[文献1]「大阪労山ニュース」2016年10月号 中川和道「大阪府連における登山者養成：大阪の新たな挑戦 2016 その1」

[文献2]「登山時報」2013年1月号、大阪労山ニュース2013年1月号2月号3月号「溝手氏講演会『登山と法律』の記録」

[文献3]中川和道『その救助、法律的に無効』大阪労山ニュース2020年1月号 p25

[文献4]溝手康史「登山の法律学」東京新聞出版局、2007年。

ハイキングレスキュー（リーダー編）座学/実技

日時：10/26（木）19:30～21:30（座学）10/31（日）9:00～15:00（実技）

場所：10/26（座学）連盟事務所 10/31（日）奥山兩山自然公園（日根野



集合)

費用：各講座 1,000 円

申込： <https://ws.formzu.net/dist/S1104490/>

※原則として実技と座学セットで受講ください。

リーダーとしてメンバーにお助 4 点セットの使用方を教えられるレベルを目指します。その上で危険個所の通過時にリードとして FIX ロープを張る。またそれをビレイする。メンバーに指導してそこを安全に通過させる等の一連をリーダー、サブリーダーとして確実にこなせるよう練習します。

※リーダー編では入門編でするロープワーク等の指導はしません。基本的な事はできるというリーダー向けの講座です。また極力事前に入門編を受講ください。

冬山登山と気象 入門 座学

日時：10/27 (水) 19:30~21:30

場所：連盟事務所

費用：500 円

申込： <https://ws.formzu.net/dist/S69930015/>



冬山の気象に関する基礎的な事項を冬山の特徴をまじえながら解説をします。また、一般に入手できる地上天気図、高層天気図、天気予報などから、それぞれ何に注目して山の天気をどう予想するかを解説します。

地形図の読み方 (入門編)

日時：11/6 (土) 13:00~17:00 (座学) 11/7(日)9:00~15:00 (実技)

場所：11/6 (座学) 連盟事務所 11/7 (日) 近郊の里山

費用：各講座 1,000 円

申込： <https://ws.formzu.net/dist/S14894936/> (10 月から)

※座学と実技をセットで受講ください。〔片方だけの受講はできません〕



山の中での道迷い遭難などを無くし、登山を安全に楽しむために、地形図を読む力を身につけましょう。地形図が読めるようになると、山へ行く前に歩くルート全体を見て、危険なところ、道に迷いやすそうなところなどを前もって知ることができ、対策を考えておくこともできます。

(地形図とは、国土地理院の 2 万 5 千分の 1 地形図のことです)

座学は、土曜日の午後、途中休憩をはさみながら 4 時間ほどを予定しています。

等高線とその読み方、磁北線の引き方、ベースプレートコンパスの使い方、地形図をネットから印刷する方法など、読図の基礎から学習します。

実技は座学の翌日、近郊の里山へ登ります。周りの地形 (尾根や谷、ピーク) と地形図を見比べながら歩き、等高線の奥深さを少しずつ理解していきます。地形図を読む楽しさをぜひ体験してみてください。

2019 年から座学が 4 時間となり以前より内容が深まっています。学び直しの方も大歓迎です。

※地形図の読み方 (実用初級編) は入門編延期開催のため今年度は開催されません。

この春出版 事故事例集の勉強会開催

登山道下山中の転倒防止を呼びかけ

教育遭対部・疋田吉継

大阪労山がこの春に出版した事故事例集「事故防止は仲間の知恵で」の勉強会が 9 月 9 日夜、Zoom で行われ、会員 55 人が参加。登山道の下山中に転倒する事故が多いことが報告され、今後、下山中の転倒事故防止策についての集中的な調査、研究に取り組んでいこうとの提案がなされた。

転倒防止にはストックの使用が有効

大阪労山では、1994 年に「大阪労山における事故の記録」（1969 年～1993 年の事故 163 件を収録）を出版しており、今回の本は 27 年ぶりの事故事例集となる。

今回の事例集では、1998 年～2020 年の事故 580 件を掲載。特に事故対策会議が始まった 2010 年以降の事故約 200 件について詳しく分析している。

勉強会では、初めに編纂委員の OWCC の河野仁さんが話をした。河野さんは 2002 年～2014 年度の事故 295 件について、中心となり分析結果をまとめた（2016 年に報告）。（以下は河野さんの話の要約）

295 件の事故のうち、登山道で転倒してケガをする人、特に骨折する人が非常に多く、これを防ぐ必要があると痛感した。登山道での死亡事故は 9 件あり、うち岩場での転落が 4 件あった。

岩場での転落死亡事故を分析すると、岩登りの技術や経験のない人が、転落の危険性の高いところで転落している。自分の技術を超える山に挑戦した結果、事故を起こしてしまったというのが私の結論です。実力とのレベルに差があり過ぎた。

そこで、事故を減らす対策をいろいろと考えました。まず、ハイキングコースの（客観的な）グレード付けが必要だと感じた。グレードに応じて自分の行ける山を判断する。これは安全という意味で非常に重要なことだと思います。

また、岩場のある山に行く場合、初級岩登りと下降技術の訓練はしておくべきだと思う。場所によっては補助ザイルでの確保も必要なので。岩登り経験のある同行者と

行くことも勧めます。

さらに、転倒防止にはストックを使うのも有効。1本より2本の方がいい。ただし、岩場でのストック使用はかえって危険なので両手を使って登ってほしい。また、普段から筋力トレーニングをして、鍛えておくことも大事です。

事故と言うと、ややもすると「心構えが良かった、悪かった」とかの「心構え論」を言う傾向があるが、私は事故を減らす一番大事なのは技術論だと思う。技術の向上によって事故は減らせる。技術の進歩によって事故は防げると思います。

そのためには各会や登山学校、教育遭対部、救助隊などが技術交流していくことが大事です。それぞれが単独でやると我流になるが、技術交流によってレベルアップが図れる。井の中の蛙にならないことが大事だと思います。

登山道下山中の転倒防止の研究会を作ろう

続いて、今回の事故事例集の編纂委員長を務めたOWCCの中川和道さんが話をした。中川さんは、事故対策会議が始まった2010年から2020年までの事故195件について、中心となってまとめ、分析した。(以下は中川さんの話の要約)

防ぐことのできた事故をゼロにしようという観点から、分析を行い、本書を出版しました。分析には2つの手法を用いた。1つは統計分析、もう1つは個別の事例分析。個別事例の分析は事故対策会議のメモを付ける形でまとめました。

ハイキング系の分析を終えたので今回発表させていただきます。クライミング系の分析はまだです。今後、どなたかやって下さればありがたい。

事故対策会議には大事な原則がある、正解を一本化しないということです。誰が悪いとか明らかにしない、正解を一本化しない、責任追及をしないという事です。会議でも必ず複数論併記で進め、将来に可能性を残しています。

さて、事故を入山目的別にみると、ハイキング系が80件、クライミング系が53件と、ハイキング系の方が事故件数が多かった。

ハイキングの事故は、登山道下山中の転倒事故が最も多く、驚きました。ハイキングでの事故を防ぐには、転倒の撲滅が最も重要な課題になるわけです。ちなみに発生時刻は14:00頃が一番多かったが、理由はまだわかりません。



一方で、道迷いの事故は全体の2%でした。警察などの統計（事故の約40%が道迷い）に比べて圧倒的に少ない。これはズバリ言って地図読み教育の定着だと思えます。さらに我々のような組織登山者にはリーダーがいることが大きい。

やはり今、私たちが力を注ぐのは登山道下山中の転倒事故の克服にほかならない。そこで呼びかけです。登山道での転倒事故を無くす研究会とかを作り、事故撲滅を目指す動きを始めませんか。また、クライミング系の方々、今後、このデータを自分たちで分析しませんか。

お二人のお話の後、意見交換を行った。以下にその要旨をまとめる。

- ▼ハイキングだけでなく、クライミングでも、下山時はほっと気が抜けて事故を起こしやすく危険。下山時にはリーダーが声掛けするなど注意を促す必要がある。
- ▼登山道の下山中に事故を起こした方々に集ってもらい、どのような状況で事故が起きたかなどを話し合ってもらえばどうか。
- ▼歩き方、下り方に焦点を当てて研究していこう。
- ▼ストックの使い方を研究する必要がある。ストックの講習会を考えてもらいたい。
- ▼下り時に遠近両用メガネをかけていると危険度が増す。注意をしてほしい。
- ▼この事故事例集を各会などで有効に利用すればいい。またこの勉強会をきっかけに、さらに皆さんの知恵を出し合って、事故を減らしていこう。

このような活発な意見が交わされ、約1時間40分にわたる勉強会は終了した。

教育遭対部では、今後も事故事例集の勉強会を開催する予定。さらに山の教室の「遭難事例研究」などでも事故事例集を活用していく。

救助隊のページ

■ 搜索訓練のご案内 ■

皆さんが普段歩いている関西近郊の山々。里山には、登山地図には書かれていない多くの踏み跡があり、無数の細かい尾根と谷があります。実はアルプスなんかよりも道迷いのリスクが多いのです。皆さんも一度は道迷いを経験したことがあるのではないのでしょうか

「下山予定を過ぎても帰ってこないんです！」と会員の家族から連絡が来たら、あなたはどう行動しますか？ 搜索に向かいたいが、どのような手順で進めるのか？ 救助隊に出動してもらうには？

実際の搜索を体験することで、救助の流れを理解するとともに危機管理意識向上に役立てていただく事が目的です。是非、一度ご参加ください。

【概要】

11月6日(土) 遭難発生～搜索依頼～搜索手順会議（労山事務所で実施）

11月7日(日) 8:00～ 搜索実動訓練（大岩が岳を予定）

【参加申し込み方法】

氏名・所属会・連絡先・参加の日程を明記の上、メールにてお申し込みください。

会で取りまとめてお申し込みも可能です。

締切:11/2(火)まで

アドレス:owaf.rescue@gmail.com

担当:石橋

■ 運営メンバーの募集 ■

救助隊の活動を一緒に企画・運営していただけるスタッフを募集しています。

救助に興味がある・技術を会に広めたい・学ぶところが無い。

登山経験は問いません。気になっていればまずは下記にご連絡ください。

アドレス:owaf.rescue@gmail.com

担当:松本

■ 次回以降の訓練計画 ■

2022年1月 雪搬出訓練

▲△女性委員会ページ△▲

女性委員会のミーティングで、コロナ禍の中でも山に行くために通勤時にスロージョギングを取り入れている人、日々の生活の中で体力づくりを実施していることを話し合い今回のニュースに反映することにしました。

「スロージョギング」は、脚を引き上げるという動作に、太ももの前(大腿四頭筋)、腰(大腰筋)、お尻(大臀筋)の大きな筋肉を使うため、ウォーキングに比べ、エネルギー消費量は約2倍、また「歩き」と違って「走り」は一瞬両足が宙に浮き、そこからの着地で負荷がかかり筋トレになり、筋肉の衰えの抑止にも繋がります。息の上がらないユックリジョギングで効率の良いエクササイズの実戦となります。

みなさん、ぜひ日々の生活の中に山筋ゴーゴー体操やスロージョギングを取り入れ、全身持久力をつけましょう・・・

コロナ禍で、思うように山行できない日々が続いています。でも、意識して鍛えないと筋力も体力も衰えていきます。日常に、無理なく運動を取り入れたいな、と思っていたところ、2019年12月に行われた山筋体操サポーター養成講座に参加して、スロージョギングを教わりました。それで、通勤にスロージョギングを取り入れることにしました。最初にランニングシューズを買いました。そして、通勤カバンをリュックにしました。週3日のパート勤務で、職場まで約20分の道のりですが、続けることが大事、という思いで1年9ヶ月なんとか続いています。効果は…？ わかりませんが、シューズは2足目になりました。(笑) 報告：大田

「以下、女性委員会メンバーの経験や努力を紹介します。」

★変化のない日々…ついついだらだらと過ごす。筋トレは一日サボると連続休止に繋がりがり…あつという間に筋肉劣化…復活にエライ時間がかかり…を周期的に繰り返しています。

★私の体力作りはテレビ体操と、カーブスです。山筋体操も家事の隙間にやっています

★山行することで一番体力がつくと思いますが、いつも山に行ける訳でもなく。コロナ禍ですます行く機会がなくなっています。私は仕事で自転車に乗ったり、身体はよく動かしていますが、それでは山へ行く体力は維持できません。やはりランニングや筋トレで体

力増加に励んでいます。毎日目標歩数を決めているので途中の階段や段差の道を出来るだけ使い歩いています

★雨の日も暑い日も自転車に乗らず、ザックを担いで遠くのスーパーまで買い物に行くように努めています。

★毎日目標歩数を決めているので出来るだけ坂道や階段の有る道を選び歩いています。週1回は大きな公園まで40分歩き外周をスロージョギングで走っています。

スロージョギング ~持久力を高め、足腰を鍛える~

“かかと”や“つま先”ではなく
フォアフットで着地する



フォアフットは足指の付け根辺りのことで、つま先では無い。フォアフットで着地すると、踵で着地するよりも衝撃は1/3と少ない。

その場でジャンプをすると、自然とフォアフット着地になる。

その場駆け足で感覚をつかむ。

福岡大学 田中宏峻教授が研究され、世界の学会に招待され国内外で高く評価されている。

スロージョギング



ニコニコペースで走るスロージョギング:

- ① 歩くのと同じくらいのスピードでゆっくり行うジョギングなので加齢に伴って山での持久力が落ちた人に効果。
- ② ウォーキングとは異なり登山に必要な大腎筋、大腿四頭筋と大腰筋がきたえられ転倒防止にもつながる。
- ③ エネルギー消費はウォーキングの1.8~2倍で、高血圧の改善、善玉コレステロールの増加、前頭葉機能が向上。
- ④ 1日30分程度から開始し次第に時間を伸ばす。
- ⑤ 筋委縮と心血管機能改善、減量の改善効果。

子ども冒険学校

報告：八尾山の会 中路尚子

7月31日(日) 子ども18名、大人12名、スタッフ10名：計40名

9月5日(日) 子ども10名、大人9名、スタッフ8名：計27名

場所：神戸市北区 逢山峡沢登り

今年もコロナ禍が終息せず昨年同様に日帰りで行った。

感染対策には消毒、三密をさける、マスク（川の中では出来ない）などに気を付けて下は3才上は中学生の子供達も自然の中で楽しんでくれた。

2回目の取り組みは長雨の合間で1回目よりも、気温も低く水量が多かったが天気にも恵まれ十分楽しむ事が出来ました。

毎年参加してくれる子供達も居てますが、その子たちの成長を見るのも楽しみの一つです。来年こそはコロナ気にせず今まで取り組んできた一泊二日が実施出来たらと願っています

*今後の取り組み

秋のハイキング・・・10月24日(日) 私市〜くろんど池

11月下旬・・・子どものクライミング教室

*以下参加者の感想を紹介します。

孫2人が小学1年生になり、初めて冒険学校に参加しました。それも3才のゴマメ付きで6人の参加です（夫はスタッフとして）

いただいた葉に、丁寧に持ち物リストが付いていたので、孫と確認しつつ準備を進めましたが初めての事でイメージがわからず、少し不安な様子でした。いざ、集合場所に行くとライフジャケットやワラジなどサイズ毎に用意されていてスタッフの心遣いが感じられました。

川遊びでも、初心者・熟練者と班分けがされていて、それぞれスタッフが付いてくれ安心して遊ばせることが出来ました。沢登りや川遊びなどは、なかなか家族だけでは出来ません。

“未来の山やを育てよう”の趣旨の通り、我が家の孫は「また冒険学校行きたーい!!山に行きたーい!!」とすっかり冒険学校の虜です。夏休みの絵日記も、もちろん冒険学校です。

綺麗な川で楽しく遊び貴重な体験をさせて頂きました。

お世話になったスタッフの皆様ありがとうございました。

第 50 回戦跡ハイキング 和歌山県由良町 軍事戦跡巡り&白崎海岸・カルスト地形の見学

今回の戦跡ハイキングは和歌山県由良町です。由良町内に残された軍事戦跡巡りと白崎海岸のカルスト地形を訪れます。案内の方は、由良九条の会事務局長の小田憲さん（元和歌山県立高校教諭）です。今回は戦跡巡りの他に、白崎海岸のカルスト地形と戸井津鍾乳洞を見学します。特に白崎海岸の石灰岩から今から 3 億年前のウミユリの化石に出会える楽しみもあります。また、鍾乳洞はベルム期（2 億 5000 万年前）のもので石灰洞穴、洞内の気温も年間約 15 度と平均しており、快適な地底を楽しむことができます。今回の戦跡ハイキングプラスワンの多彩なメニューにご期待ください。（大西）

日時：2021 年 11 月 20 日（土） 集合：大阪駅前旧モンベル店前、午前 7 時

日程 大阪～（阪和道・湯浅御坊道路）～由良町、巡検～帰阪

参加費：約 4000 円（交通費、資料代等） 申し込み：10 月 23 日（土）大阪労山連盟・大西清見
（080-1460-3884） *コロナ感染対策を考慮して定員を先着 7 名とさせていただきます。

低山の急激な植生の変化 ポンポン山雑感

2021 年 9 月 3 日

三鍋敏郎

先月、朽木駒ヶ岳に登って感じたことだが、山頂の東斜面全体がシダ類とダンドボロギクに覆われていた。他の山でも同じような現象が多く見られる。北山周辺でも登山口辺りの林道全体がダンドボロギクやベニバナボロギクに覆われていることは皆さんもご存知のことだと思います。ダンドボロギクは北アメリカ原産で 1933 年に愛知県の段戸山で発見されたのでダンドという名前になったといわれています。ベニバナボロギクはアフリカ原産。どちらもボロクズ綿のような種子を大量に風に飛ばして荒地という荒地を覆い尽くし、しばらくするとシダなどが侵入し消えてゆく。しかし以前よりも繁殖地の高度が上がってきているので、いずれ高山帯のお花畑にも到達するものと思われる。

一方、ボロギクの後にはシダ類が多く繁殖する。最近良く目にするのがヒカゲノカズラの大繁殖。シダ類は鹿が食べないのでどんどん増えてしまう。胞子が風で飛ばされ比較的に日当たりの良い場所で無数に繁殖を繰り返す。皆子山に至る水分の多い斜面でもシダ類の繁殖が激しくなっており、斜面全体が同じ種類のシダに覆われている。ハナヒリノキ、ユズリハ、マツカゼソウ、トリカブトなどの繁殖も目を覆うばかり。鹿の食害で笹や下層植物が消え、荒地となった空地に無限に広がっている。尾根筋ならハナヒリノキ。湿地ならマツカゼソウ。トリカブト、ユズリハなどは所構わず繁殖しているように思う。特にユズリハは大木となるのでこれまで楽に歩けた斜面を覆うように繁殖するので通行困難な状況に至る。これらすべての繁殖は、天文学的な数値なので、もはや人間たちの手で封じ込めることは難しい。地球温暖化や、今全世界を騒がしているウイルスなどと同様に人間たちの野放図な文明が招いた結果である

地図とコンパス片手に低山徘徊 (1)

大坂志峰会 田中 芳子

* 『山々 No.116 (2021.6)』より転載

地球温暖化の影響で、紅葉や落葉の季節が年々遅くなっているように思うこの頃。紅葉した木々が木の葉を落とし、山々が冬を迎えようとする季節…私は晩秋から初冬にかけての物静かなこの季節が大好きです。地図とコンパスを持って、地図にないルートや登れそうな尾根を探しての直登、藪漕ぎ など、自由に低山を歩き回れる季節が今年もめぐってきました。

2020年1月30日 高峰山(632m)

コース：下之坊寺(9:45)～七曲峠～尾根の藪漕ぎ～ドコモ鉄塔～高峰山～資材置き場～下之坊寺(14:05)

メンバー：M田さん、T田さん(ブナ山の会)と田中

天理駅に集合して、Mさんの車で下之坊寺に移動。バラモン杉と言う大きくて立派な杉が印象的だった。ルートを確認して七曲峠から藪の尾根に突っ込む。首から下げたコンパスやメガネの紐が木の枝に引っ掛かり、思うように進めないが、人の歩いてないところを地形図を頼りに行くのは私も大好きだ。“この尾根に出たかな??”と地図を見ながら3人で確認し、間違いなければ先に進む。読図はその繰り返し作業。次第に踏みあとがはっきりしてきて、歩きやすくなったと思ったら、倒木が道をふさいでいる。山側も谷側も急斜面過ぎて回り込むにはいやらしいね～と、Mさんがザックから剪定鋏を出して小枝を切り始めた。生け花用のはさみでは無理でしょう!!と、私も折り畳み式の鋸を出して“一番若い人が頑張っ!!”とTさんに渡す。枝を3～4本切ったら、何とか通れるようになった。このメンバーで地図読みの時はいつも初めてのコースなので、何が起きるかわからない。鋸を入れてきて正解だった。ドコモの鉄塔の下でひと休みして高峰山に向かう。山頂は藪が刈り取られていて、三角点がある。ここから、林道歩き。資材置き場のところでお昼タイム。おしゃべりが弾んで、気が緩んだのか? 昼食後、歩きだしてしばらくすると前方にドコモの鉄塔が見えている。え～?え～?? 3人同時にビックリ!! 間違っったことに悔しいと思いながら、基本に戻って、今来た道を15分くらい戻る(30分以上のロス)。そして、田んぼのあぜ道から沢沿いの予定のコースに入る。沢の後半にまた少し藪漕ぎがあり、やっと開けたところに出た。下之坊寺まで、車道歩き20分というところの田んぼの陽だまりで、コーヒータイムを取りながら反省会。後半は集中力がなくなり、気が緩んでしまう。読図はまだまだやなあ～と大いに反省の日でした。

2020年2月21日 加茂北山(487m)～奥岸谷山(521, 8m)

コース：車道P～読図尾根～加茂北山～茶畑～奥岸谷山～読図尾根～車道P

地球温暖化の影響で、紅葉や落葉の季節が年々遅くなっているように思うこの頃。紅葉した木々が木の葉を落とし、山々が冬を迎えようとする季節…私は晩秋から初冬にかけての物静かなこの季節が大好きです。地図とコンパスを持って、地図にないルートや登れそうな尾根を探しての直登、藪漕ぎなど、自由に低山を歩き回れる季節が今年もめぐってきました。メンバー：M田さん、T田さんと田中 Mさんの里山、和東町の山です。里山だけど、Mさんも歩いてないコースというので、地図を頼りに行ってみることにした。車道に車を止めて、北山から奥岸谷山への尾根をたどり、車のところに戻ってくる周回コース。車を止めたところから対岸の尾根の末端まで戻り、ガードレールをくぐって、水量の少ない川を対岸に渡る。目指す尾根を確認したけど、いきなりの急登。道はないが下草も枯れていて、藪漕ぎもなし。喘ぎながら登っていると先頭に行くTさんが“イノシシがいる！”と立ち止まった。Mさんは“戻る？”と心配そう。見ると右の谷に下りて行くので、急いでザックから熊鈴を出す。うるさいほど熊鈴を鳴らしながら、歩き始めた。地図がないと迷いそうな尾根の分岐が何か所もあり、気が抜けなくてしっかり読図の練習になった。美しい茶畑のところまで迷いそうなどころもあったけど、順調に周回コースを歩き、車を止めているところにドンピシャリで下山できた。今日はイノシシに出会うというハプニングで、最後まで集中できたのが、よかったと思う。ドンピシャリは嬉しいよね～と車をバックにハイ、ピース！！これだから読図は面白い。*

* (3月になってコロナ騒ぎのため、読図中止)

* (蛇が徘徊中は、私は冬眠…否、夏眠中)

2020年11月24日 虚空蔵山 (592m)

コース：JR 藍本(10:40)～岩場コース～虚空蔵堂～丹波岩～山頂～表参道～JR 藍本(14:35)

参加者：西川さん・田中

数年前、藍本から山頂を踏んで草野まで縦走したことがあるので、歩いたことのないコースを探したら、最短コースとして岩場コースがあり一般向きではないと書かれている。これこれ！と思って、西川さんと歩いてきました。藍本駅から南に150～160m行った民家の空き地から山に入るが、標識はない。山に入ると踏みあとはあるけど、そのまま行くと大きな堰堤に突き当たるので、尾根に向けた踏みあとをたどっていく。岩場コースの由来なのか大きな一枚岩が立ちはだかり、このあたりで踏みあともなくなる。コンパス通り岩の右側を回り込んで、地形を読みながら、落葉を踏みしめて登っていく。359のピークを踏んで、現在地を確認できた。いったん下ってトラバース気味に登っていくと踏みあとがはっきりしてきて、すぐに虚空蔵堂下の表参道と合流する。穏やかな陽ざしの中、一輪のリンドウを見つけて、西川さんが写真を撮っていたので、お堂でひと休みする。本当に静かで至福のひととき。紅葉もきれいだ。休憩後はお堂の右側に登山道があり、途中役行者の石像を左に見て、急坂を登っていくと丹波岩があり、すぐに山頂につく。展望良好で、誰もいない山頂でランチタイム。帰りは表参道の一般ハイキング道を下る。里山ののどかな田園風景の中を藍本駅へ。14:43発の電車で帰宅。

参照：『関西周辺の山 250』山と溪谷社

オリンピック その 1：個人有志で声明を出しました

OWCC 中川和道 20210827

五輪を機に「エベレスト登頂者の集いを東京でやるかも」との明るい情報を 2017 年に聞き労山全国 K 嶋さんにお電話。そして雑談：リオ五輪では労山全国に問い合わせが何件も来ましてね、何と、あのキリスト像の背景の島の岩山の名は？クライミングできるのか？とかね。おお、一点集中の仲間が多いねと大笑いした。

東京 2020+1。コロナで集いも何も吹っ飛んだ。感染爆発の中で開催強行。これはいけない。労山有志で中止申入れをしようと、初めて橋本聖子会長に末尾の申し入れ書を送った。有志なので全国労山の文書には載るはずもない。歴史に埋もれていく。大阪の何人かから「どんな文章だったのですか」と聞かれもした。個人山行記録は大阪労山ニュースに載せてもらえるから、その延長で記録にとどめさせていただければと願う。

7/20 を過ぎたのに感染の拡大が止まらず専門家のプレーキも効かない。おいおい、まるで大雨警報で増水が始まった沢に、複数連盟の合同の沢登り大会山行を強行するようなもんだ。せめて、撤退決定基準「F1 の水かさかひざ下まで来たら中止する」とかを前もって決めておいて行動開始する、これがヤマヤだろうがや(これ何語?)。東京の西本武志さんの電話 7/23 で大阪の滝上肇 佐々木雅博 川上洋子 中川が動き出した。

西本さんと計 5 名で世話人が 7/25 初動。労山全体での行動は不可能、全国理事会での有志声明も難しいらしく、労山会員個人の有志声明しかない。全国役員が代表になれない場合に備えて旧全国会長とか地方連盟の現旧会長等にバックアップ代表 5 名をお願いし、文案を練った。世話人による文案の議論：(1)大会組織委員会医療座長 岡部信彦医師発言 7/16 朝日「入院できない人が出たら途中で五輪中止を」を根拠としよう、(2)五輪やめろというなら部分的に再開した今の登山はもぐりだからやめろというのか？→もぐりじゃない、「限定的」再開(個人山行のみ可、会山行禁止、公開山行禁止)しかできてない、悔しい思いが続いている、雪の前に「全面的」再開(思いっきり会山行や公開山行なども)したいのに、この五輪で感染爆発長期持続となれば、それは「登山の本格的再開」の妨げだ。経済 社会活動(演劇など)の本格的再開も同じく妨げられる。首都圏の健康安全安心確保と登山の全面的再開の希望は軌を一にしている、(3)オリパラ憲章スポーツ理念の筆頭は「健康増進」。この五輪はこれに真っ向から反している(西本さん、深野一郎さんとの議論)。(4)観客の地鳴りのような応援なしではアスリートは万全の競技にならず、むしろ申し訳ない面すらある。ワクチンが行き渡ってからやるべき。秋？(5)言葉が曲げられて実態をごまかしている。無観客=立入禁止じゃないか、(後日には)自宅療養=入院拒否に他ならない、などの議論があった。

最終的に下記 4 名が代表をご快諾、文章の手直しをいただいた。制約の多い中、大いに感謝だ。個人なので役職はお名前の後部かっこ内に記載させていただいた。7/27-29 手分けして全国の仲間に声をかけた。50 時間の声かけで 12 都府県から合計 80 名+のご賛同。労山外のクライマーからも主旨賛同の声をいただいた。

「労山は誰も何も言わなかったから声なき声は全員賛成」との誤解を橋本会長に与えずに済んだと思う。全国理事会有志声明で数千人の声合わせを目指したかったが、今回はこれまで。次号では観戦多感を。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
会長 橋本聖子 様

2021 年 7 月 30 日

開催中でもオリンピック中止の決断を

- 1、新型コロナウイルスはパンデミックが加速しつつあり、7月29日時点で、感染者は世界1.96億人、日本で89.2万人、死者は世界で418万人、日本で1.5万人です。この状況下で、オリンピックは、国際的クラスターを東京に形成するかのようになり、感染を加速・拡散する感染拠点になりつつあります。オリンピック競技が集中的に行われている東京都・首都圏では感染拡大は爆発的な状況にあり、神奈川県、埼玉県、千葉県にも緊急事態宣言が出されています。都内などでは医療は逼迫しており、「通常医療を抑制する」など、国民の命が脅かされる状況になっています。
- 2、感染を爆発的に拡大させながらのオリンピック強行・続行は、コロナ感染の対応策を遅らせ、国民のスポーツ振興にも重大な影響を及ぼすこととなります。また、社会の諸活動の再開、経済活動の本格的再開の妨げになるものです。
- 3、私たち日本勤労者山岳連盟は、登山は権利であり健康増進の礎として、長年、活動してきました。1、2で述べた以上のような状況は、オリンピック・パラリンピックの精神およびスポーツの基本理念(健康、人道、平和、平等、連帯)に反する事態になっています。このような状況に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が対応していただき、開催中であっても、オリンピックの中止を決断すべきであると考えます。

日本勤労者山岳連盟会員有志 代表

佐々木 功 (日本勤労者山岳連盟 会長)
浦添 嘉徳 (日本勤労者山岳連盟 理事長)
西本 武志 (日本勤労者山岳連盟 前会長)

編集後記

9月も京都府北部の里山へ。9月19日、京都府綾部市古屋に栃の実拾いのボランティアに、21日はソバの花が満開とニュースで知ったので南丹市美山町の茅葺の里に行ってきました。

古屋は今では二軒三人の集落、まだ94歳のお母さんが現役で頑張っています。今回は栃餅の原料、栃の実拾いのお手伝いでした。ボランティアは小学生も含めて総勢約40名、樹齢1000年の栃の木もある美しい谷での作業でした。今年は栃の実は不作で去年の100分の1くらいの収穫でしたが、それでも二人のお母さんはつきたての栃餅をお土産にくださいました。栃の実には焼酎にも工夫され、100本限定の栃の実の焼酎「栃神」を購入して帰りました。

この三連休の観光地はどこも混んでいるので、この混雑を避けて21日に南丹市美山町の茅葺の里に行ってみることに。道も里もかなり空いていて快適な楽しい一日を過ごすことが出来ました。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「茅葺の里」、ソバの花が見ごろを迎えていました。2002年ごろから、美山町北地区の住民らが休耕田を活用してソバを栽培し始めたそうです。茅葺屋根の古民家など周囲の景観に合い、訪れた人たちにも楽しんでもらえる絶好のビューポイントになりました。翌日の毎日新聞の一面にも「山里彩る白秋」と写真付きで掲載されていました。(大西)



綾部市古屋、樹齢1000年の栃の巨木

今月も各会より会報を送っていただきました。

安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぼん山（高槻）、こもれば通信（山の会こもれば）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

発行日 2021年（令和3年）9月27日 No.428

編集・発行 入澤、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清